

第5回 香取市子ども・子育て会議  
議事録要旨

日時：平成26年12月17日（水）15時～  
場所：香取市役所5階 大会議室

1.開会  
2.会長あいさつ  
3.協議事項

(1) パブリックコメントの実施結果について

《事務局からの資料説明》

《質疑応答》なし

(2) 子ども・子育て支援事業計画（素案）について

《事務局からの資料説明》

《質疑応答》

委員 思春期保健対策がこの計画に位置づけられていないがなぜか。

事務局 教育委員会と調整した結果、総合計画に記載されており、この計画には未記載とした。 【※1】

会長 この計画は子ども・子育て支援の部分を中心に作られており、市の他の計画に記載されているものは未記載となっている。

《事務局から、事前に委員から提出された意見について説明》

《事前に意見を提出した委員から補足説明》

《事務局から、事前に委員から提出された1つ目の質問意見「香取市子ども・子育て会議の開催時間について」に対する回答を説明》

《1つ目の質問意見に関する質疑応答》

会長 本会議の開始時刻を15:00～としたのはどのような理由からか。

事務局 保護者の代表の方が会議に出席するに当たり、児童クラブや一時預かりにお子さんを預ける時刻を考慮して設定した。

委員 13:30～や夜間などが望ましい。

会長 夜間の開催は事務局として不都合はあるか。

事務局 不都合はないが、開始時刻を何時にするのが問題である。

会長 夜間の開催は保護者の代表の方にとっては、預け先を確保しなければならない問題が出てくる。

事務局 委員から提案のあった13:30～ではいかがか。

会長 特に意見がないようなので、次回は13:30～で決定したい。

《2つ目の質問意見「子育てをしながら末永く住み続けたいまちをつくる」に関する質疑

応答》

会 長 意見を提出された委員に補足説明をお願いしたい。

委 員 人口減少や若年人口の減少を踏まえて、子育て世代にとって魅力あるまちづくりをしてほしいという提案である。

《事務局から、事前に委員から提出された2つ目の質問意見に対する回答を説明》

会 長 今回の計画の内容に盛り込むものではないが、日本創成会議による消滅可能性都市にあがっている本市においては、子育て世代にとって魅力あるまちづくりを勧めしてほしい。

《事務局から、事前に委員から提出された3つ目の質問意見「小児の夜間診療、休日保育の不足について」及び4つ目の質問意見「病児保育について」に対する回答を説明》

《3つ目及び4つ目の質問意見に関する質疑応答》

委 員 病児保育の開設や運営はかなり大変と聞いており、市としての整備の見込みを確認したい。

事務局 平成27年度からスタートすることは困難であり、準備は進めている。まずは、当課に保健師又は看護師を配置することを検討している。

会 長 ニーズは大きいですが、病院併設の病児保育の整備にはいろんな課題があり、市としては保健師又は看護師を配置・派遣という代替案を進めているということである。可能なら、施設型の病児保育の整備が望ましいと思う。

委 員 ニーズ調査で「小児の夜間診療、休日診療の不足」があがっているが、不足と回答した保護者の中には、どこに相談してよいのか分からないという保護者も含まれているのではないかと。もっと分かりやすい情報提供を行う必要がある。

事務局 委員のご意見のとおり、周知の仕方には課題がある。

委 員 他市では、メールで周知を行っているところも多い。

事務局 本市においても防災など他分野ではメール配信を行っているが、子育て分野では行っていない。他分野と同様の仕組みを使えば可能ではある。担当課と検討する必要がある。

委 員 休日・夜間診療のお知らせは広報のスペースが小さく、改善の余地がある。千葉県や本市、そして成田市の情報を整理し、情報を有機的に結びつけられれば、情報提供も充実するのではないかと。

会 長 市の広報やホームページなどで情報提供の工夫をする中で、充実を図ってほしい。病児保育は市では派遣型を計画中的のことである。そのほか、意見などがあれば出してほしい。

事務局 後日改めて意見を出していただけるよう、様式を用意したので意見を出してほしい。

会 長 療育相談支援事業について、相談の拠点が市内にないので、発達支援センターのようなものを整備してほしい。また、遊び場の整備に関して、橘ふれあい公園に

行ったら、使えない遊具があった。遊具の整備に努めてほしい。

事務局 民間と連携して発達支援センターの整備などを検討していきたい。また、遊具については保守への補助金がなくなってしまったこともあるが、今後の充実については検討したい。なお、遊び場としては子育て支援センターもあるので、PRに努めたい。

委員 幼稚園にも気がかりな子どもについて、入園前の事前に相談があったりするので、教育委員会と相談しながら、入園に向けて、支援員を配置するなどの支援を行っている。先ほどの委員からのご意見についてであるが、子どもの数が減少している中で、子どもが少人数だとイベントが盛り上がらない。本市が魅力的な市となって、子どもの数が増えてほしい。

4.その他

《質疑応答》なし

5.閉会

以上

**※1 会議終了後、関係課と再度協議した結果、「思春期保健対策」について、掲載することとなりました。**